

2025年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】					
授業科目名	自立に向けた清潔保持の支援		教員氏名	佐藤 美紀	
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-1⑤				
学年	専攻科		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	6年
テーマ	着脱の介助、入浴・清潔保持の介助、安眠のための技法の習得				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	この科目では主に着脱の介助、入浴や清潔保持の技術、安眠のための技法を学びます。多くの技術を体験し、グループディスカッションやディベートを用いて高齢者の気持ちにの理解を目指します。利用者本人が尊厳を保持し、主体的に生活を送れるよう根拠に基づいた基礎的な知識・技術を習得します。また、介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務した経験をもとに事例を用いながら解説します。国家試験を見据えた小テストを実施します。				
授業の 到達目標	①自立に向けた入浴・清潔保持のアセスメントや意義・技術を技術を使用できる ②ICFの視点に基づいた清潔保持における生活支援について述べることができる。				
	③自立に向けた身支度(着脱介助)の技術を使用できる ④自立に向けた休息・睡眠の意義やアセスメントを説明することができる				
	⑤入浴・清潔保持の介護における事故への対応や感染症への対応の説明することができる				
テキスト	『生活支援技術Ⅱ』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規				
参考書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2026「下」中央法規				
ポートフォリオ	ワーク7. 8. 9「介護に関する漢字」				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他: コマシラバスの活用				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	10分ワーク35%、小テスト35%、、実技テスト20%、授業内態度10%		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	自立に向けた着脱介助の意義と目的・パジャマへの介助（一部介助・片麻痺介助）	
	授業外学習	〈復習〉片麻痺の方のパジャマの介助の手順を習得する	55分
第2回	テーマ 内容	パジャマへの介助（全介助）靴下の介助（グループディスカッション）	
	授業外学習	〈予習〉教科書にてパジャマへの着脱の介助に目を通す 〈復習〉パジャマの全介助の手順を習得する	55分
第3回	テーマ 内容	浴衣の介助	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて浴衣の介助の方法に目を通す 〈復習〉実技試験に向け、浴衣介助の技術を練習する	55分
第4回	テーマ 内容	自立に向けた入浴の介助の意義と目的・安全へのアセスメント・足浴の介助	
	授業外学習	〈予習〉教科書の入浴介助を行うにあたってに目を通す	55分
第5回	テーマ 内容	入浴の介助方法・ストレッチャー浴の体験（用具の活用と環境整備について）	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて入浴の技術に目を通す 〈課題〉着脱・入浴分野の勉強（小テスト）	55分
第6回	テーマ 内容	洗体の技術と家庭浴槽への介助（グループディスカッション）	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて家庭浴槽への介助に目を通す 〈復習〉片麻痺の方の家庭浴の技法をワークに記入する	55分
第7回	テーマ 内容	清拭の意義と目的・清拭の方法（全身清拭）	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて顔拭き・耳掃除の技法に目を通す 〈復習〉顔拭き・耳掃除の技法をワークに記入する	55分
第8回	テーマ 内容	身支度の介助（洗面・整髪・スキンケア・爪・顔・髭剃り・耳の清潔）	
	授業外学習	〈予習〉医療行為と関連した技術を調べる	55分
第9回	テーマ 内容	実技試験（浴衣の介助）	
	授業外学習	〈予習〉実技試験に向けて練習を行う	55分

第10回	テーマ 内容	ベッドでの洗髪の介助(ケリーパット)	
	授業外学習	〈課題〉清潔(爪切り・顔拭き・耳掃除・家庭浴槽)分野の勉強(小テスト)	55分
第11回	テーマ 内容	睡眠・安眠の意義と目的 電法の意義と技法(湯たんぽ・氷枕の作り方)	
	授業外学習	〈予習〉私たちの眠りのリズムを調べる。子どもの眠りのリズムを調べる	55分
第12回	テーマ 内容	心地よい眠りを促す方法(安楽な姿勢の実技)	
	授業外学習	〈予習〉実技試験に向けて練習を行う	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ:生活支援とチームアプローチ	
	授業外学習	〈予習〉清潔保持介護における生活が豊かになる支援や多職種との連携の場面をまとめる	55分

課題に対するフィードバックの方法

採点した小テスト、10分ワークは当該学生に開示し、不明点に対する説明を授業内で行う。両テストともに7割に満たない学生は再テストや教員と勉強を行う。